

**令和4年度 北海道総合保健医療協議会
地域医療専門委員会 周産期・小児医療検討委員会 議事概要**

開催日時：令和4年7月19日（火） 18：00～

開催場所：TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前 5A

1 開会

2 議事

(1) 報告事項 ア「周産期医療体制の確保について」事務局から説明

(委員)

はい。詳細なご報告ありがとうございました。

本件につきまして、何かご質問ございませんか。よろしいでしょうか。

続きまして、報告事項のイ「医師の働き方改革」について、事務局から説明をお願いいたします。

(1) 報告事項 イ「医師の働き方改革について」事務局から説明

(委員)

はい、どうもありがとうございました。

ただいまの説明に関しまして、委員の先生方からご意見ご質問いただきたいと思えます。

(委員)

よろしく申し上げます。

産婦人科の中では、この働き方改革に関しては、数年前から話をしておりますが、前回の産婦人科の学会の中でも、意向としては、産婦人科の労働状態を維持するために、宿日直許可を、どちらかという今まで話してはいなかったのですが、全体的に取っ払いという形を対応作って進んでいる現状がございます。

しかしながら、産婦人科のことや救急のことを考えますと、電話対応だとか軽微な仕事をやるのに宿日直を取って良いのかという問題点も実は隠されながら国の方の話でもなっています。ここ道の中で話す次元を越えているかとは思いますが、病院の方で宿日直許可を産婦人科も含めて取ってしまうと、本当にこれが私たちの働き方が軽微な仕事になっているということを認めているような状態にもなりますし、かつ、この状態に問題があるのかということが、スタートした時に問題が起こる可能性もございます。

2ヶ月前の日本産科婦人科学会の部会の話し合いの中でそういう動きがあるということだけを情報として周知しておきますし、私どもの動きと合わせながら、働き方改革として宿日直許可を病院全体で取られてしまって、産婦人科や救急がその中で対応できるのかどうかというのが、北海道の回答はなかったのですが、このままで進んでしまう可能性があるということがあるかと思ひまして、2ヶ月前の話として情報共有させていただきます。

(委員)

はい。どうもありがとうございます。これ、宿日直許可の取得状況とかは、まだ道では把握していないのでしょうか。

(事務局)

そうですね。色んなところで、各医療機関に今、調査などを、国の調査もありますし、道の方でも医師会を通じて調査させていただいているところで、まだ取りまとめたデータがございませんので、これがまたわかりましたら皆様方に情報提供させていただきたいと思っております。

(委員)

はい、ありがとうございます。他にございますか。

(委員)

よろしいですか。今の問題ですけれども、確か厚労省が今年の3月か4月に全国の自治体の方と、病院とか大学とに対して、準備状況の調査結果をまとめるような形になっていまして、それでまあ、全体としてのパーセンテージがまとまっていないもので、北海道の自治体の方ではどうなっているのかわかれば教えて欲しくて。

また全国の自治体の方がどうなっているのか把握出来ていれば知りたいのですが、わかるでしょうか。

(事務局)

はい、ありがとうございます。今、先生がおっしゃったような形で、調査の回収率が半数程度だったというところで、改めて、道でもしっかりと調査しなければならないというふうに考えております。

今は詳細なデータを集めている最中と、その3月4月のデータは手元にございませんで、わかりましたら、また還元させていただきたいと思っております。

(委員)

他にございますか。この宿日直許可が、今後、働き方改革の肝になってくるとは思うのですけれども、その辺、もう少しこの委員会でも情報共有して対応策を考えていくような形にしたいと思います。よろしいでしょうか。

続きまして、(2)の協議事項であります「北海道医療計画等の推進状況」につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

(2) 協議事項 「北海道医療計画等の推進状況について」事務局から説明

(委員)

はい、ありがとうございます。資料3に関しまして、ご意見ご質問ございますか。

(委員)

すみません、よろしいでしょうか。

小児のところの、一番下の、乳児死亡率っていうのが出ています。全国平均の1.8以下をある程度目標にしていると思うのですが、平成31年、令和2年とも2.1、2.0と、全国に比べてちょっと高くなっているのですが、何かそれに対する根拠などあったら教えていただきたいと思います。

(事務局)

ありがとうございます。細かい分析などはしておりませんが、確かに全体で1.9だっ

たのが、2. 1、2. 0というところがございますので、この辺りは推移を見据えながら、やっ
てまいります。

また改めて少し高い傾向がもし出てくるようであれば、また色々ご相談させていただきな
がら対応させていただこうと思っておりますので、もう少し推移を見ながら、あるいは、状況がど
のようになっているのかは、もう少し実際の細かな数字などを見させていただいてと思ってお
ります。

(委員)

例えば死亡の経緯を見るとか、或いは何ヶ月で亡くなったのかとか、その辺のもう少し細かい
データがあると、もう少し解析できるんじゃないかなと思います。わかりましたら教えてください。

(事務局)

ありがとうございます。参考にさせていただきます。

(委員)

はい、ありがとうございます。データがあるようであれば、次回でもお願いいたします。

(資料4の事務局説明後)

(委員)

はい、ありがとうございます。ただいまの説明でご意見ご質問ございますか。

これで予定された議題は全て終了ですが、その他として何かございますか。それでは最後に事
務局からよろしく申し上げます。

(事務局)

本日は当方の機材設定に不具合があり、大変申し訳ございませんでした。次回以降はしっかりと改善
させていただきながら、ご討議いただく時間をしっかり取りたいと思います。

また、次回は年度内に開催したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(委員)

他になればこれで本日の委員会は終了させていただきます。皆様どうもお疲れさまでした。